

vol.16

福祉たすけあい助成BOOK

第24期助成団体紹介



福祉
たすけあい助成



公益財団法人

かながわ生き生き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

目次

かながわ生き生き市民基金 福祉たすけあい基金	03
第1期～第24期までの申請・助成実績	04
第24期福祉たすけあい助成（通常型助成） 選考講評	05
・一般社団法人 遊びでまちづくりする準備室 ・人生わくわく船	06
・特定非営利活動法人 メダカのお弁当 ・NPO法人 シリウス	07
・一般社団法人 セカンドスペーストゥエンデ ・特定非営利活動法人 ひだまりの森	08
・NPO法人 ははことファミリー ・川崎朝鮮初級学校 オモニ会	09
・特定非営利活動法人 ちがさき学童保育の会 ・NPO法人 JECK	10
・チャコ村	11



かながわ生き生き市民基金

◆私たちのミッション

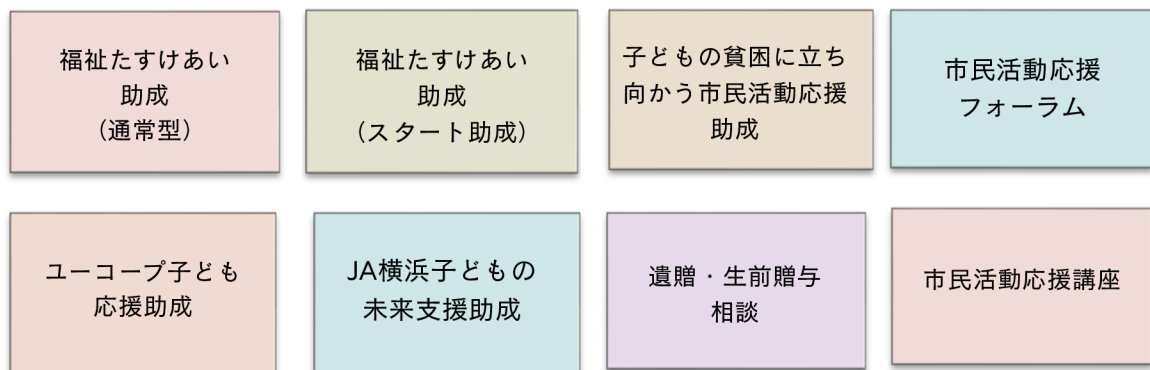
＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。

しかし一方で、豊かな生活をつくることが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平和など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、子どもや障がいを持つ人々などが生きにくい社会になっています。

「かながわ生き生き市民基金」は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆私たちの事業・活動



福祉たすけあい基金

◆福祉たすけあい基金

福祉たすけあい基金は、市民が主体となり活動を展開し、たすけあう関係を育み、地域社会をおおぜいで支えあうことをめざして、2003年に生活クラブ組合員によって始まった寄付活動です。2013年からは、公益財団法人かながわ生き生き市民基金の助成事業と財団運営費として寄付されてきました。特筆すべきは、ひとりの大きな寄付ではなく、おおぜいの市民が参加することでまとまった金額の基金が形成される点です。

2024年10月からは、「生活クラブまちづくり基金」として形を変え、意志ある組合員からの寄付は、管理運営団体「生活クラブまちづくり基金」を経てかながわ生き生き市民基金に寄付されています。

かながわ生き生き市民基金では直接寄付も受け付けています。直接寄付は公益法人の税制優遇を活用できます。

◆福祉たすけあい助成

福祉たすけあい助成は、①通常型の助成と、②活動の立ち上げや、活動初期の基盤づくりを応援するスタート助成を年に1回ずつ行っています。

また、申請時に事前相談を実施しているため、申請書の書き方のアドバイスのみならず、申請団体にとっては事業・運営の考え方の整理などに役立てられています。

第1期～24期までの申請・助成実績



赤字部分はスタート助成

助成時期		助成 団体数	助成金額 (円)	申請 団体数	申請金額 (約万円)
第1期	2014年4月助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年4月助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年6月助成	11	3,822,000	20	1084
第4期	2015年9月助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1,667,633	12	390
第6期	2016年9月助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年4月助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年9月助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年4月助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年9月助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年4月助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年9月助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年4月助成	12	3,266,759	13	393
第14期	2020年11月助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年4月助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年9月助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年4月助成	18	4,998,871	21	716
第18期	2022年10月助成	17	4,000,000	21	999
第19期	2023年4月助成	19	4,700,000	20	642
第20期	2023年10月助成	15	4,000,000	15	523
第21期	2024年4月助成	17	3,792,000	21	670
第22期	2024年10月助成	8	3,285,176	10	432
第23期	2025年4月助成	16	4,944,942	17	495
第24期	2025年10月助成	11	3,986,000	12	510
合 計		301	92,611,263	416	17,388

◆第1期から第24期までの助成活動から

これまでに、301団体に対して助成を行ってきました。特に、食支援や学習支援を通じて子どもや若者の貧困に取り組む団体や、不登校の子どもたちのための居場所やフリースクールを運営する団体からの申請が増加しています。また、地域の防災に関する啓発活動や災害に備える支援活動からの申請もあり、人々の支え合いを促進する様々な活動に助成が広がっています。

選考においては、活動や事業の先駆性、有効性、持続性が重視されるだけでなく、地域の人々や団体との連携も重要です。時間、知恵、労力、資金を持ち寄り、市民が主体となって地域の課題を解決する参加性も重視されます。さらに、市民の実践に基づいたアドボカシー活動を通じて、社会を変える志の拡大が期待されています。

第24期福祉たすけあい助成（スタート助成）

選考講評



選考委員長 手塚明美
(一社) ソーシャルコーディネートかながわ理事長
(公財) かながわ生き生き市民基金理事

第24期の選考が終了し、11団体の活動に3,986,000円の助成が決定しました。今回は、12団体・総額5,096,000円の申請があり、横浜市・川崎市・相模原市といった政令指定都市から半数、茅ヶ崎市、二宮町、秦野市、厚木市、大和市から半数と全県各地からの応募が見られました。今回の応募の特徴として、これまでの団体活動や団体を取り巻く地域の資源を活用した仕組みづくりや、防災・減災をテーマにしたまちづくり活動など、ひと工夫を凝らした活動が複数見受けられました。次のステージを目指す活動として大変期待しています。

第24期は通常型の助成です。スタート助成と違って、複数年継続の助成を受けることはできません。できることであれば、減額を避けて、申請額を助成したいと考えています。しかしながら、基金としての予算もあることから、今回も全ての活動への助成支援とはなりません。多くの市民による一人・月100円の寄付が本基金の原資となっています。活動計画や資金計画の組織内合意を経て、ぜひ再度のチャレンジを計画していただきたいと願っています。

最後になりますが、本助成に向けご寄付いただいた皆様にお礼を申し上げますとともに、引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



選考委員

委員長	手塚明美	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長
委員	田中夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者
	川岸卓哉	弁護士/ (特非) 原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長
	荻野慶子	NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会理事
	高村文子	三浦市民交流センターニナイテ館長
	小野明男	神奈川新聞社/港北区民文化センター館長
	矢野克子	生活クラブ生活協同組合神奈川副理事長

**(一社) 遊びでまちづくりする準備室
(茅ヶ崎市) 代表 矢野雅大
726,000円**

【助成した活動】

まちのスコアレ～まち全体が学び場・遊び場～

【団体紹介】

★設立年月

2023年9月



★団体の活動目的・内容

「まち全体が遊び場学び場」をコンセプトにした多拠点型プロジェクト「まちのスコアレ」を設立し、多様な人が協働する自律共創的な場づくりを行っています。

★団体情報

住所：茅ヶ崎市（非公開）

TEL：080-3414-3064

mail：info@machinoschole.org

URL：https://machinoschole.org/

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は、私たちの活動にご理解を頂きまして、助成対象に選んで頂いたこと、深く感謝申し上げます。1年目の申請では、未熟さや不透明さが多々ありまして、ご受理頂けませんでした。事務局の皆さまからのフィードバックで、事業の整理や気づきとなることを沢山頂けました。改めてですが、多大なご支援をありがとうございました。私たちは、かながわ生き生き市民基金の掲げるミッションに賛同しております。活動するまちのスコアレは、地域の稀薄となった関係性を暖気循環するような取り組みを行うことで、世代や世帯で分断され、生きづらさを抱えた子どもや大人に届ける活動を微力ながら地道に実行し続けていきたいと考えています。活動を通じて、社会に必要な価値を創造することで、社会に伝播していくことを大きな目標に掲げて、運営をし続けたいと思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



**人生わくわく船
(二宮町) 船長 朝日山一男
250,000円**

【助成した活動】

二宮住民「避難所研修」及び「避難訓練及び能登半島地震支援活動から学ぶ報告コンサート」

【団体紹介】

★設立年月

2019年4月

真心靴下大作戦！心も身体も温めよう！！

新品の靴下や真心をお届けします
被災地で寒い冬を迎える支援活動です。
現地で活動中の義援マッサージ師の先生からの
お声がけにより始めました
一人でも多くの方のご支援願いますよう
お願い申し上げます！



★団体の活動目的・内容

子供から高齢者まで、障害の有無に関わらず、災害に備えて平時より顔の見える関係づくりを行っています。「寺子屋」を開催しセルフケア指導を行い、自らが体力づくりや健康管理が出来ることを目的とします。

★団体情報

住所：中郡二宮町二宮1169-43

TEL：0463-70-5138

mail：kamesuke89@yahoo.co.jp

【助成を受けての思い・メッセージ】

船長・副船長が新潟中越地震より能登半島地震まで被災地での医療活動を継続する中で、平時より顔の見える関係づくりが被災後の復興に大きく寄与することを体験してきた。また、避難所・仮設住宅・復興住宅のいずれのフェーズにおいても①生活不活発病②引きこもり③コミュニティー形成の難しさといった問題は発生していた。この問題の解消には、イベントを通して顔の見える関係づくりが最も有効であることも体験できた。そこで、地域において、平時より住民の健康維持増進を基盤に「寺子屋」（サロン活動）や災害研修を含めたイベントを企画し、障害の有無にかかわらず、老若男女が集う場を提供してきた。此度助成を受けることで、災害研修を充実させ、防災減災キャンプ・研修・コンサートを実施いたします。今回の助成でより多くの住民の方に、顔の見える関係、災害への備えを実施して頂く機会になればと思っています。



(特非) メダカのお弁当
(相模原市中央区) 理事長 鈴木雄大
305,000円

【助成した活動】

第1回 インクルーシブ
進学・就労フェア in 相模原



【団体紹介】

★設立年月

2022年4月活動開始、同年11月NPO法人化

★団体の活動目的・内容

経済的困難や家庭環境に課題を抱える子どもたちに対し「食」と「学び」を通じて支援を行っています。

★団体情報

住所：相模原市中央区相模原2-12-21

mail：main@keisho.sakura.ne.jp

メダカのお弁当 <https://medakabento.com/>

メダカの学校 <https://medaka-no-gakko.org/>

SNS https://x.com/medakano_obento

https://www.instagram.com/medaka_no_obento/

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度、「福祉たすけあい助成」を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、食支援と学習支援を通じて地域の子どもの未来を応援してまいりましたが、最終的な自立には「稼ぐ力」が不可欠だと感じています。これは、発達障害を持つ娘を育てる親としての切実な願いでもあります。今回の助成を活用し、「第1回インクルーシブ進学・就労フェア in 相模原」を開催します。進路や就労に悩む子ども・保護者・支援者が集い、学びや特性に応じた支援を必要とする子どもたちが、多様な進路を知り、自分らしい生き方を考えるきっかけとします。この取り組みを通じて、教育・福祉・企業・行政が連携し、地域全体で支え合う共生社会の基盤づくりを進め、「恩送り」の精神で次世代へ希望をつなげてまいります。



NPO法人 シリウス
(厚木市) 理事長 葛巻公司
300,000円

【助成した活動】

福祉の増進を図りながらまちづくりの推進を図る事業

【団体紹介】

★設立年月

2024年3月



★団体の活動目的・内容

- ①高齢者、障がい者子供に対して交流の場の企画実施、生活上の手助けに関する事業
- ②地域住民、福祉施設利用者の健康保持、日常生活の改善を目的として健康増進カラオケ事業の開設

★団体情報

住所：厚木市吾妻町1番3-301

TEL：046-205-4772

URL：<https://npo-sirius.com>

【助成を受けての思い・メッセージ】

任団体から始まり、昨年3月にNPO法人シリウスを設立し活動をしています。この度助成を受けることができ心から感謝申し上げます。自分たちが住んでいる団地内で部屋を2室借りて、毎週金曜日に健康増進カラオケ事業を行っています。他に工作やお誕生日会等交流の場を企画実施しています。カラオケ活動には大勢の方が参加しています。部屋も雰囲気良くなるようにイルミネーションをセットしました。一人一人の笑顔が素敵。手拍子や楽器を鳴らし楽しそう。私達はこれからやりたい事があります。高齢者や障がいのある方や子どもに対して交流の場づくりを企画実施と事業の拡大のための広報活動。ホームページ等活用し組織を大きくしていき安心安全な町づくりに頑張ります。



(一社) セカンドスペーストゥエンデ
(相模原市中央区) 代表理事 小木 慎子
300,000円

【助成した活動】

不登校児童生徒のための
居場所運営事業

【団体紹介】

★設立年月

2025年4月3日
一般社団法人設立



★団体の活動目的・内容

不登校児童生徒のための居場所運営と教育事業

★団体情報

住所：相模原市中央区鹿沼台1-7-7
 トラスト・テック相模原ビル4階Oasis英会話内
 (フリースクール)
 mail: secondspace.twende@gmail.com
 URL: https://secondspacetwende.wixsite.com/my-site3

【助成を受けての思い・メッセージ】

このたびは助成いただきありがとうございました。
 私たちは、いかに子どもたちがこの社会で過ごしやすく生きていけるのかを第一に考えて活動しています。
 不登校児童生徒が対象のフリースクールですが、学校に行きづらさを抱えている子どもたちの休息の間もある居場所の運営をしています。不登校児童生徒及びすべての子どもたちが、どうしたら生きやすくなるのかを学校と共に考える学校連携や、地域社会に不登校児童生徒の現状を知ってもらい、考えるきっかけとなる講演会などを今後も開催します。また、保護者を支えるカフェの運営、イベント等で子どもたちがイキイキとして過ごせる場、楽しめる社会の実現を目指し、不登校が増えない環境づくりを考えたいと思います。そのために地域、社会、様々な団体と連携を取ってこれからも活動していきます。



(特非) ひだまりの森

(横浜市港南区) 理事長 林 順子
300,000円

【助成した活動】

子育て期の女性のための
ひきこもり支援事業

【団体紹介】

★設立年月

2006年4月NPO法人設立



★団体の活動目的・内容

悩みがあっても相談への抵抗感から相談できず親の精神疾患・虐待・DV等の多岐にわたる問題が生じていることを目の当たりにしてきました。そこで、敷居の低い相談を実施するためNPOを設立し、親に寄り添うことで、子どもの健全な生活を支える活動を行っています。

★団体情報

住所：事務局：横浜市港南区日野南6-19-20
 TEL：事務局：080-4808-1154
 mail: hidamarimori1154@sky.hi-ho.ne.jp
 URL: http://hidamarinomori10.blog.fc2.com/

【助成を受けての思い・メッセージ】

女性のひきこもりは、近年注目されている社会問題であり、徐々にひきこもり女子会も実施されています。しかしながら、子育て中の母親は孤立の辛さがあっても「子育て中だから仕方ない」と自他共に思いこみ、知らず知らずのうちにひきこもり状態になってることがあります。当法人「子育て期の相談」でもひきこもりが懸念される相談が増えています。精神的な疾患・虐待・夫婦不和やDVの相談には、ひきこもりや生きづらさが影響していることが少なくありません。安心安全の場で自らの状況を話し、同じ立場の仲間と出会うことが、ひきこもりであることを受け入れ、社会とのつながる新たな一歩になると思われます。このようなことから、子育て期の女性のひきこもりに特化した電話相談と居場所づくりを行います。事業名に「子育て期の女性のひきこもり」と表すことにより、必要としている方への働きかけになり、また社会に向けての情報発信にもなると考えています。



NPO法人 ははことファミリー
(大和市) 代表 山下麻子
550,000円

【助成した活動】

～こどもの創造力を育む～
 ことばのたねばこ



【団体紹介】

★設立年月

2025年7月22日 NPO法人設立

★団体の活動目的・内容

「子どもの笑顔は地域の宝」を理念に、子どもたちが安心して集い、自由に表現できる場を育てています。拠点の駄菓子屋は子ども達の居場所となり、昔遊びや知育玩具、ボードゲーム、AIを使った新しい体験まで、多彩な遊びを通じて子どもの創造力を伸ばし、地域と共に成長できる活動を予定しています。

★団体情報

住所：大和市西鶴間2丁目4-17

TEL：090-8311-7501

mail：hahakotofamily@gmail.com

URL：https://r.goope.jp/hahakoto/

【助成を受けての思い・メッセージ】

このたび「かながわ生き活き市民基金」福祉たすけあい助成をいただき、心より感謝申し上げます。NPO法人ははことファミリーは、地域と子どもをつなぐ「こどもまんなか」の活動を続けています。こどもマルシェや駄菓子屋、季節の行事やお祭りなどの場を通じて、子ども自身が考え、表現し、地域の人々に関わる経験を大切にしてきました。拠点の居場所では、昔遊びや知育玩具、ボードゲーム、さらにAIを使った新しい体験まで、幅広い遊びを通じて子どもの創造力と社会性を育てています。今回のご支援を励みに、地域と子どもたちが共に成長できる温かなつながりをこれからも紡いでまいります。そして、未来を担う子どもたちが自分らしく羽ばたける社会づくりに努めてまいります。



川崎朝鮮初級学校 オモニ会
(川崎市川崎区) 会長 朴香苗
640,000円

【助成した活動】

朝鮮学校と地域の子供
 たちのための居場所
 づくり事業



【団体紹介】

★設立年月

1970年4月設立

★団体の活動目的・内容

目的：川崎朝鮮初級学校に通う子ども達の教育・食育支援と地域イベントの参加を通した、相互理解と温かい地域作りを目指しています。
 活動：学校給食の提供・子どもの読み聞かせ・地域イベントの参加

★団体情報

住所：川崎市川崎区桜本2-43-1

mail：kawasakimomikai@gmail.com

【助成を受けての思い・メッセージ】

このたび「福祉たすけあい助成」をいただくことになり、心より感謝申し上げます。

私たち川崎朝鮮初級学校オモニ会は、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを願うお母さんたちの集まりです。今回の助成を受けて始める「居場所づくり事業」は、放課後や長期休みに、学校や地域の子どもたちが共に遊び、学び、温かく見守られる時間をつくる取り組みです。家庭や地域のつながりが希薄になりがちの中で、オモニ（お母さん）たちが中心となり、地域の方々やボランティアと力を合わせて運営していくことに大きな意義を感じています。この助成をきっかけに、子どもたちが「ここにいていい」と感じられる居場所を守り育て、地域の中に笑顔と支え合いの輪を広げていきたいと思っています。



(特非) ちがさき学童保育の会
(茅ヶ崎市) 理事長 炭田裕美
335,000円

【助成した活動】

不登校児童の寺子屋と支援者ネットワーク事業

【団体紹介】

★設立年月

2004年10月



★団体の活動目的・内容

茅ヶ崎市内の各小学校区の保護者が運営していた学童保育所の保育内容の充実と指導員の安定雇用を目的に、保護者会13団体を一元化するために設立された法人です。子どもたちの心身ともに健やかな発達を援助し、健全で豊かな地域社会の確立を図ること。

★団体情報

住所：茅ヶ崎市東海岸北1-4-62 NTT東日本茅ヶ崎ビル

TEL：0467-40-4405

URL：https://www.chigasaki-gakudo.com/

Instagram法人

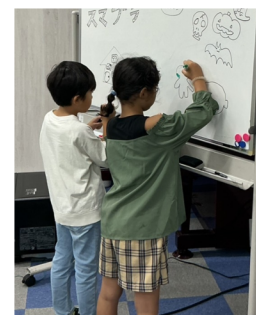
https://www.instagram.com/chigasaki_gakudo/

Instagramほっとスペース道草

https://www.instagram.com/hotspace_michikusa/

【助成を受けての思い・メッセージ】

この度は私たちの新しい取り組み「ほっとスペース『道草』」にご理解と助成を頂き、心より感謝申し上げます。今回の取り組みは私たちが21年間取り組んできた学童保育の事業を進める中で、学校外の居場所を必要とする子どもと保護者が増えていることを感じ、すべての未来ある子どもたちの健やかな育ちを支えるための新たな地域のつながりをつくるために地域の居場所づくりを進める市民団体と共にはじめる新たな取り組みになります。「子どもと保護者がほっと一息ついて必要な情報を提供できる居場所」として、「地域の子どもの育ちを支える様々な機関のネットワークづくり」として、「つながる拠点」に育てていけたらと思っています。人と人がつながり、孤立する人びとを減らし、子どもたちが健やかに育つための地域に根差したネットワークづくりに向けて応援よろしくお願いします。



NPO法人 JECK (横浜市保土ヶ谷区)

理事長 杉田伸樹

150,000円

【助成した活動】

大地震による家屋倒壊リスクに特化した防災・減災の啓蒙

【団体紹介】

★設立年月

2019年9月 NPO法人登記

★団体の活動目的・内容

JICAの途上国支援や国際ビジネスの経験者が集まり2003年に誕生。東京都、神奈川県等の地域活性化、多様性に貢献する活動を展開。中小企業支援、まちづくり、国際協力に関する大学での出前講義等を行っています。また、工場Study Tour、防災への啓蒙等も行っています。

★団体情報

住所：横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜センター3階

TEL：090-6013-5937

mail：kiyotok5@yahoo.co.jp

URL：https://www.jeck.jp/

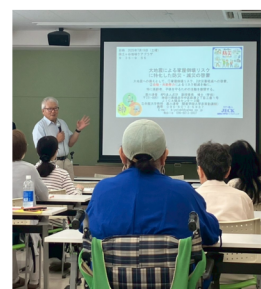
Facebook:https://www.facebook.com/profile.php?

id=61576760285724



【助成を受けての思い・メッセージ】

JECKでは、国際経験の豊富なスタッフが、国際理解教育を中心に展開してきましたが、日本社会の高齢化、能登半島大地震などでの「地域が抱える問題解決の必要性」を強く認識するようになってきました。今回の福祉たすけあい助成は、JECKの活動が国際問題のみならず、国内の問題にも向けていることを示す絶好の機会となりました。特に高齢者対策と地域防災は、日本ならではの問題であり、この問題解決は世界に模範を示せる可能性を秘めていると考えています。そのため、地域ケア活動をしている他の団体、学生団体との連携を深めています。特に防災では、自助、共助、公助のうち、自助と地域コミュニティによる「共助」の育成のための啓蒙活動を高齢者ケアも含めて実施しているところで、これらの成果をHP、SNSなどで発信して行く計画です。今回の助成は、JECKの地域活動を深化させ、同様の新たな活動パートナーと連携する最高の機会となりました。



チャコ村（横浜市都筑区）

代表 小泉景子

130,000円

【助成した活動】

チャコ村の藍と
綿で遊ぼ

【団体紹介】

★設立年月

2017年12月



★団体の活動目的・内容

地域交流、地域交流の場の提供

地域交流の場の提供（週1～3回）

「藍と綿で遊ぼ」ワークショップ開催（月1回）

不登校支援活動「チャコカフェ」（月1回）

★団体情報

住所：横浜市都筑区東山田町1681

TEL：090-2446-4089（代表・小泉）

mail：chako8160@gmail.com

【助成を受けての思い・メッセージ】

代表の祖母であるチャコおばあちゃんが野菜を作っていた畑や、地域の方と集いお茶飲みをしていた小屋を再利用し、2017年より「チャコ村」という地域交流の場を立ち上げました。せっかく畑があるのだからと、野菜を作るだけでなく、近隣に住む草木染め作家さんと共に藍や綿を育て、ものづくりのワークショップなども開村当初より行って参りました。老若男女、障害の有無問わず様々な年代の方たちが共に過ごす中で、集う方たちに藍の葉の刈り取りや綿摘み、綿の種取りなどを手伝ってもらいながらのワークショップです。藍や綿をつかったものづくりを通して、より多くの方が交流をしながら活躍できるような場をつくっていきたいと考えております。この度は助成して頂き誠にありがとうございました。



かながわ生き生き市民基金への寄付で市民活動を応援

■賛助会員になり財団を応援してください。

公益財団法人かながわ生き生き市民基金では、以下の活動を行っています。

- ・助成事業（福祉たすけあい助成、オーダーメイド助成、事業指定助成）
- ・研修・セミナー事業（学習会、フォーラム開催、報告書発行）
- ・相談・助言事業
- ・遺贈・生前寄付の受付

当財団の継続的な活動を支援して下さる「賛助会員」を募集中です。賛助会費は財団の運営に活用致します。ぜひ、賛助会員としてかながわ生き生き市民基金を応援してください。お申し込みは以下のURLまたはQRコードから申し込みフォームをご利用ください。

<年会費>

個人会員：（1口1,000円）1口以上 法人・団体会員：（1口10,000円）1口以上

- ・賛助会費は当財団への寄付となり、税制優遇措置の対象となります。
- ・賛助会員として支援いただくと下記のような特典があります。

<会員特典>

- ・年次報告書の送付 ・助成団体活動報告書「福祉たすけあい助成BOOK」の送付
- ・フォーラム報告書の送付 ・当財団が企画開催するイベントへの招待

賛助会員について

申込フォーム

URL：<https://lively-citizens-fund.org/sanjo>





発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15 パレアナビル6F

TEL：045-620-9044 Fax：045-620-9045

mail：info@lively-citizens-fund.org

URL：https://www.lively-fund.sakura.ne.jp

発行日：2025年12月1日

